

令和5年度ベゴニア温室植栽・展示変更について

田中宏昌

植栽・展示変更について

ベゴニア温室東側には原種の地植え展示コーナーがあるが、展示株が大きくなり過ぎたもの、生育が悪くなったもの、名札が株に埋もれて見えなくなっていたものがあった(写真1、2)ので、令和5年12月に植替えを兼ねて植栽変更を行った(表1、2)。

後列には草丈が高くなる木立性ベゴニアの原種を配置した。前列には草丈が高くない木立性ベゴニアと根茎性ベゴニアを配置し、中列にはその中間の草丈になるものを配置した(写真3、4)。なお、これまでの植栽を掘り上げた際の土壌の様子や、株の大型化を防ぐために土壌の入れ替えや、土壌改良資材の投入は行わなかった。

新たに展示したベゴニアは、原種の鉢植え展示コーナーのものとバックヤードで栽培・保存している生育良好な株で、展示効果の高いものを使用した。株の大型化を防ぐために鉢植えの状態で地面を掘って、植栽・展示した。鉢の上部は地上部に露出させ、灌水時に土の乾き具合を見て確認できるようにした。

おわりに

原種地植えコーナーの植栽変更を3年ぶりに行ったが、株の大型化や生育不良になる株もあるため、来年度以降は少なくとも年に1回は植栽変更を行いたい。また今後は株の生育に応じて随時手入れ、入れ替えを行っていくとともに、解説板を設置し、入園者により一層関心を持ってもらえる温室にしていきたい。



写真1 原種地植えコーナー 変更前その1



写真2 原種地植えコーナー 変更前その2



写真3 原種地植えコーナー 変更後その1



写真4 原種地植えコーナー 変更後その2

表1 これまで展示していた品種

後 列	中 列	前 列
<i>Begonia.organensis</i> (木)	<i>B.BC-15</i> (根)	<i>B.sudjanae</i> (根)
<i>B.reniformis</i> (木)	<i>B.richii</i> (根)	<i>B.borneensis</i> (木)
<i>B.metallica</i> (木)	<i>B.U043</i> (木)	<i>B.sp.</i> (台湾産) (根)
<i>B.luxurians</i> (木)	<i>B.valdensium</i> (木)	<i>B.isoptera</i> (木)
<i>B.roxburgii</i> (根)	<i>B.breviramosa</i> (木)	<i>B.macdougallii</i> (根)
	<i>B.bowerae</i> var. <i>roseflora</i> (根)	
	<i>B.nelumbiifolia</i> (根)	

(木)：木立性 (根)：根茎性

表2 新しく展示した品種

後 列	中 列	前 列
<i>B.breviramosa</i> (木)	<i>B.U400</i> (根)	<i>B.imperialis</i> (根)
<i>B.luxurians</i> (木)	<i>B.rex</i> (根)	<i>B.foliosa</i> (木)
<i>B.aconitifolia</i> (木)	<i>B.barsalouxiae</i> (根)	<i>B.conchifolia</i> (根)
<i>B.metallica</i> (木)	<i>B.acerifolia</i> (木)	<i>B.staudtii</i> (根)
<i>B.U043</i> (木)	<i>B.U062</i> (木)	<i>B.acida</i> (根)
	<i>B.bowerae</i> var. <i>roseflora</i> (根)	<i>B.fangii</i> (根)
		<i>B.bowerae</i> (根)
		<i>B.bowerae</i> var. <i>nigramarga</i> (根)
		<i>B.lanceolata</i> (根)

(木)：木立性 (根)：根茎性